



川内小学校だより

ゆずり葉

第4号

令和2年6月3日
桐生市立川内小学校発行

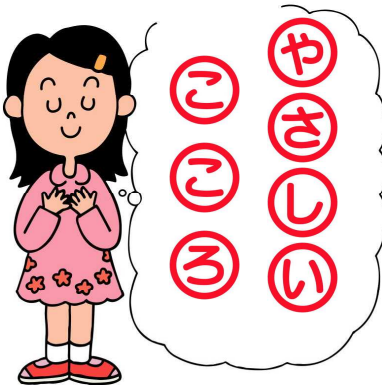


戻ってきました！ ～ 学校に子どもたちの明るい笑顔と声が！

新型コロナウイルス対策にかかる群馬県の警戒レベルも下がり、ようやく学校再開ということになり大変嬉しく思っています。…とは言っても、本来の通常登校・授業に戻るまではもうひと息と言ったところで、6月のスタートに合わせて段階的な再開により、第1週～2週目について、川内小では地区別(方面別)登校のスタイルを取ることにいたしました。

この期間においても、感染予防には十分留意しながら、ソーシャル・フィジカルディスタンス(社会的・身体的距離)について、児童も教職員も十分に意識しながら感染予防に努め、学校生活を送っていきたくと考えています。

でも、「心の距離はゼロ」を心がけたい！



相手との間隔は、意識してしっかりと開けながらも、心と心がふれ合い、通い合うような、気持ちのよい関係は大切にしたい・させたいと思います。

←距離はしっかり取るけど→



新型コロナウイルス感染が県内に見られ始めた頃、感染者は●●に住んでいる人らしいー、立ち寄った場所は▲▲と◆◆らしいー、など大勢の人々が反応した時期がありました。建物内や室内で、咳き込んでいる人などがいると、つつい嫌な顔を向けてしまったり、わざとらしく距離を取ったりしてしまうーといった話を耳にします。少し前のニュースでは電車内でのトラブルの報道が大変印象に残っています。

過敏に反応した方々自身は、当然、偏見や差別の意識からではなく不安や恐怖からの言動と考えられますが、結果的には関係者やそのご家族に辛い思いをさせていたことが想像できます。

こうした時だからこそ、互いに思いやる温かな心を大切にしていきたいものです。咳やくしゃみをした同級生に心ない言葉を発してしまったり、相手が傷つく態度を取ってしまったというのではなく、距離は取りつつも、いたわりの言葉や励ましの言葉が飛び交うような、そんな教室となるように声を掛け合っていきたいと思えます。

----- ありがとうございます -----

3月から5月にかけてがほとんど臨時休校という中、学校からはメール配信や配布物等で各ご家庭へ様々な連絡をさせていただいてきましたが、保護者・ご家族の皆様方のご理解とご協力には誠に感謝しております。今後とも、小学校へのいっそうのご支援をよろしくお願ひします。

油断はできません。感染予防の対策はしっかりと取っていきたいと思います。

所定の場所に消毒液の配置やドアノブや共用の用具の消毒はこまめに行ってきていますが、ソーシャル・フィジカルディスタンスの取組として、写真のような準備もしました。(〈写真左〉：教師は原則、マスク着用で授業をしますが、これに加え仕切り用透明シートを各教室に設置。〈写真中央〉：各階の流しやトイレ使用時に前後の距離を意識するためのラインテープを貼付。〈写真右〉：仕切り用透明シートと併用して、発音など口の形を示したり表情で伝えたりする場合に有効となる、飛沫飛散の軽減用透明シールドを教職員に配布。)

児童のマスク着用や手洗いについては、学校でも積極的に呼びかけていきますが、ご家庭でのご指導やお声がけもよろしくお願いいたします。



〈教室に仕切り用透明シート〉



〈流しやトイレの前にライン〉



〈口の形や表情を見せる時に〉

感染予防に関しては、今後も学校ではできるだけことは取り組んでいきたいと考えていますが、そこで最も大切になってくることはみんなの意識だと思います。警戒レベルが下がってきたことで心配なのは、人々の警戒意識も一緒に下がっていくのではないかとことです。5月の最後の週末には買い物客で、多くの店舗が賑わっていたようでした。

これまでの約3か月の間、各ご家庭でも感染予防への意識を高めるため声を掛け合ってきたことと思いますが、子どもたちの意識の中にも「3密は避ける」ということが随分根付いてきているように感じます。登校してきた子どもたちの様子を見ていても、これにかかわる声が時々響いています。



(←左) 児童玄関が開く直前の様子です。早めに来た子どもたちは前後の間隔を意識して待っています。



(→右) 玄関に入ったところで健康チェックカードを出します。1年生も徐々に慣れてくることでしょうね。



(←左右→) 分散登校により、教室内は半数程度の人数で学習です。



みんなで、この時期を乗り越えていけるように、声を掛け合い協力し合い、支え合って過ごしていきます